

教 科	宗 教	科 目	宗 教
履修学年	3 年	履修規定・週時間	1 単位
教科書	なし	副教材	プリント教材

1．教科・科目の目標

- ・宗教の授業は、「宗派教育」ではなく、「宗教情操教育」つまり、心の教育であることをふまえ、生徒一人一人の「信教の自由」を尊重しつつ、「人を大切に、自分を大切に、物を大切に」することをテーマにかかげ、話を聞く姿勢を身につけさせる。
- ・「金光教を教える」のではなく、「金光教で教える」ことをおさえておく。
- ・各授業の開始の際、数分間「黙想」を実施し、自分を自分で見つめなおす機会をさせる。
- ・作法室での授業では特に静粛に心がけ、入退室の際の礼儀作法や、服装・姿勢にも留意する。
- ・随時、時事話題にも触れ、現代社会と宗教とのかかわりについて着目させる。

2．学習内容

金光教祖の生涯（42才～）
 宗教と人生（命の大切さを知る）
 作法室での「静座」授業
 詳細は「年間指導計画」参照

3．学習方法

授業

教科書の代わりとなるプリント教材を配布。話を聞くことが中心となる授業。

家庭学習

科目の性格上、家庭学習というものはないが、家に帰り、宗教の授業内容を、夕食時などに家族で話題にしてもらうことが一番の家庭学習（宿題）となりうる。

その他

評定方法は、中間・期末考査（1，2学期は中間、学年末は期末）の素点に、平常点を加味して行う。

平常点は、ノートの出来具合や提出状況、普段の授業の出席や態度で加点する。

作法室での「静座」授業の出席、態度も平常点の対象とする。